

※11. 以外は、様式 1 別紙 2 の記載見本に則り記入する。

指定研修機関番号：

指定研修機関名：

講義、演習又は実習を行う施設及び設備の状況

記入日：平成 年 月 日

1. 施設の名称	フリガナ	
2. 施設の所在地	〒 □ □ □ □ □ □ □ (都・道・府・県) 電話：() — FAX：() —	
3. 施設の代表者の氏名	フリガナ	
4. 特定行為研修の実施責任者の氏名等	フリガナ 氏名 (姓) (名) 職種： 役職：	
5. 特定行為区分の名称		
6. 当該施設で行う特定行為研修の科目と研修方法	科目	研修方法
7. 当該施設で特定行為研修を受ける看護師の定員	名	

(No.)

指定研修機関番号：

指定研修機関名：

[illegible]

(No.)

指定研修機関番号：_____

指定研修機関名：_____

9. 通信により行う場合の環境の整備状況						
具体的な実施方法						
印刷教材	利用する教材の特色					
	学修課程の管理方法					
	試験等評価の実施方法					
放送	利用する技術の特色					
	学修課程の管理方法					
	試験等評価の実施方法					
メディア利用	利用する技術の特色					
	同時双方向性の確保					
	学修課程の管理方法					
	試験等評価の実施方法					
面接授業	実施施設の名称	科目	室の区分	室数	総面積 (m ²)	収容人数 (人)

(No.)

指定研修機関番号：_____

指定研修機関名：_____

10. 医学教育用シミュレーター及び医学教育用ビデオ等の教材の整備状況	医学教育用シミュレーター		
	種類	台数	使用する科目
	医学教育用ビデオ		
	内容	使用する科目	
	その他（具体的に）		
	内容	使用する科目	

指定研修機関番号 : _____
指定研修機関名 : _____

1 1. 実習を行う施設における特定行為研修期間中の特定行為に係る症例数の実績

特定行為研修を実施した特定行為	症例数の実績（概数）
胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換	25（平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 5 月 31 日）
	60（平成 28 年 10 月 1 日～平成 29 年 5 月 31 日）
	50（平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）
膀胱ろうカテーテルの交換	5（平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 5 月 31 日）
	15（平成 28 年 10 月 1 日～平成 29 年 5 月 31 日）
	10（平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

下記②の
場合（例）

11. 実習を行う施設における特定行為研修期間中の特定行為に係る症例数の実績（概数）

○前年度の特定行為研修の実施期間中の症例数の実績を記入する。

例）平成 30 年 4 月 30 日に年次報告書を提出する場合

①実習期間：平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日

⇒3 ヶ月分の症例数の実績を記入する

②実習期間：平成 28 年 10 月 1 日～平成 29 年 5 月 31 日

平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 5 月 31 日の場合

⇒平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 5 月 31 日の 2 ヶ月分の症例数の実績（下図 A）

平成 28 年 10 月 1 日～平成 29 年 5 月 31 日の 8 ヶ月分の症例数実績（下図 B）

平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日の 6 ヶ月分の症例数の実績（下図 C）を記入する

なお、②の場合は、A と B と C を分けて記入する。

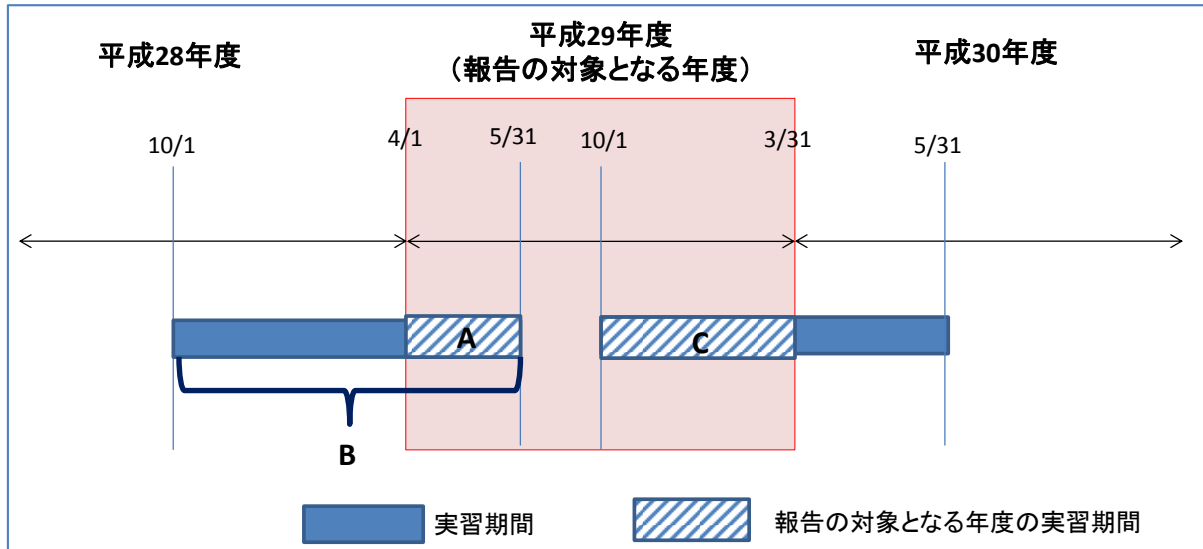
○研修が始まっていない場合は「該当なし」と記入する。

受講者がいなかった場合は「受講者なし」と記入する。

受講者がいたが症例がなかった場合は「0」と記入する。

○受講者数に対して症例数が少ない場合には、どのような対応を行ったかを示す書類（様式自由、別添資料等）を提出する。なお、受講者数に対する症例数については、前年度に修了した実施期間における全実習期間（下図 B）の症例数を受講者数（様式 4 の 11. に記入した受講者数）で割り算出する。

【例②イメージ図】



1 4 . 備考	
----------	--

備考

- 1 本用紙は、講義、演習又は実習を行う全ての施設について、特定行為区分ごとに記入すること。
- 2 「3. 施設の代表者の氏名」は、学校にあっては設置者、病院にあっては開設者、法人その他の者にあってはその代表者の氏名を記載すること。
- 3 「4. 特定行為研修の実施責任者の氏名等」は、協力施設の場合のみ記入すること。
- 4 「6. 当該施設で行う特定行為研修の担当科目と研修方法」の「科目」は、共通科目の各科目又は区分別科目の科目名（独自に科目を設定した場合にあっては、当該科目名）を記入すること。「研修方法」は、講義、演習又は実習の別を記入すること。
- 5 「8. 教室の区分、数、面積及び収容人数」の「室の区分」は、講義室、演習室又は実習室の別を記入すること。
- 6 「9. 通信により行う場合の環境の整備状況」は、通信による方法で特定行為研修を行う場合のみ記入すること。また、「具体的な実施方法」は、以下の点について記入すること。
 - (1) 「利用する教材の特色」は、教科書及び指導書等の教材の作成及び更新の方針、送付等の教材を提供する方法の概要を記入すること。
 - (2) 「利用する技術の特色」は、授業を視聴させるために利用する放送通信技術の特色を記入すること。メディア利用の場合は、教材の作成及び更新の方針等の方法の概要も記入すること。
 - (3) 「同時双方向性の確保」は、利用する技術によって一体的に扱うことのできる情報の種類及び同時双方向性の程度を具体的に記入すること。また、毎回の授業の実施に当たっての指導及び受講者の意見交換の機会等の方法を記入すること。
 - (4) 「学修課程の管理方法」は、出席の確認や学修時間の確保の方法、受講者に勉学を促し、進度に応じて行う添削等による指導の機会や方法等の概要を記入すること。
 - (5) 「試験等評価の実施方法」は、試験等科目の履修の成果を評価する方法の概要を記入すること。
 - (6) 「実施施設の名称」は、面接授業を行う施設を記入すること。
 - (7) 「科目」は、共通科目の各科目又は区分別科目の科目名（独自に科目を設定した場合にあっては、当該科目名）を記入すること。
 - (8) 「室の区分」は、講義室、演習室又は実習室の別を記入すること。
- 7 「10. 医学教育用シミュレーター及び医学教育用ビデオ等の教材の整備状況」は、医学教育用シミュレーターを有する場合は、当該シミュレーターの種類、台数及び使用する科目を記入し、医学教育用ビデオを有する場合は、当該ビデオの内容及び使用する科目について具体的に記入すること。また、「使用する科目」は、共通科目の各科目又は区分別科目の科目名（独自に科目を設定した場合にあっては、当該科目名）を記入すること。
- 8 「11. 実習を行う施設における特定行為研修期間中の特定行為に係る症例数の実績」、「12. 実習を行う施設の医療に関する安全管理のための体制」及び「13. 実習を行うに当たり患者に対する説明の手順を記載した文書」は、実習を行う施設のみ記入すること。
- 9 「11. 実習を行う施設における特定行為研修期間中の特定行為に係る症例数の実績」の「症例数の実績（概数）」は、報告の対象となる年度における当該施設の症例数の実績を記入すること。
- 10 「12. 実習を行う施設の医療に関する安全管理のための体制」の「実習に係る安全管理に関する組織の設置状況」の「備考」は、実習に係る安全管理に関する組織の主な構成員が、実習を行う施設の管理者及び関係各部門の責任者である場合に、その旨を記載すること。
- 11 「14. 備考」は、当該施設が臨床研修病院（基幹型臨床研修病院及び協力型臨床研修病院）である場合に、その旨を記入すること。
- 12 記入欄が足りない場合は、当該用紙を複写して使用するとともに、「(No.)」に通し番号を記入すること。